



首都圏本部よりこの間の労使議論を受け改めて 新たな書面を追加して提案資料が示される！

地本は9月2日「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について(2024年10月実施)」の提案を受けました。東京統括センター・中野統括センター・池袋統括センター・上野統括センターにおける体制について提案を受けましたが、労働条件に関わる重大事項であるにも関わらず、首都圏本部はこれまで書面で提案を行うという労使慣行を無視し口頭説明のみで済まそうとしてきました。今回提案を受けるにあたり3点首都圏本部と確認を行ってきています。様々問題点が想定されますが、各分会と共に議論を重ねて今後の交渉に向かっていきます。

●**実施内容** 東京統括センター、中野統括センター、池袋統括センター、上野統括センターを設立する。

●**実施時期** 2024年10月

●**体制について**

		現行				改正				記事	
		変形等	交代	乗務員 日勤	泊	計	変形等	交代	乗務員 日勤		泊
東京統括センター	管理					15	7			22	新設 乗務員(日勤)のうち、1は土休カット
	一般					27	61	18	20	126	
東京営業統括センター	管理	13	5							18	
	一般	20	61							81	
京葉運輸区	管理	5	2							7	乗務員(日勤)のうち、1は土休カット
	一般	7		18	20	45					
中野統括センター	管理					15	10			25	新設 乗務員(日勤)のうち、2は土休カット
	一般					14	24	59	67	164	
中野営業統括センター	管理	7	6							13	
	一般	2	24							26	
中野車掌区	管理	5	2							7	乗務員(日勤)のうち、2は土休カット
	一般	5		25	27	57					
中野電車区	管理	5	2							7	
	一般	11		34	40	85					
池袋統括センター	管理					15	7			22	新設 乗務員(日勤)のうち、1は平日カット
	一般					18	36	33	44	131	
池袋営業統括センター	管理	11	5							16	
	一般	8	36							44	
池袋運輸区	管理	7	2							9	乗務員(日勤)のうち、1は平日カット
	一般	13		33	44	90					
上野統括センター	管理					12	6			18	新設 乗務員(日勤)のうち、1は土休カット
	一般					17	32	15	45	109	
上野営業統括センター	管理	8	4							12	
	一般	7	32							39	
上野運輸区	管理	7	2							9	乗務員(日勤)のうち、1は土休カット
	一般	10		15	45	70					

※業務上の繁閑等に応じて1日当たりの出面数(作業ダイヤ数)を柔軟に設定する。

※上長の指示で管理者が一般社員の業務を行うことや一般社員が管理者の業務を行う場合がある。

◆中野統括センター事務減の理由

中野統括センターの発足に合わせて、中野電車区と中野車掌区でこれまで業務量として計上してきた輸送総合事務業の見直しを行う。事務がそれぞれ2ずつ減る。これまでも輸送総合事務業は繁閑が非常に大きく、定型的な業務量で図れるものではないことから、これまでの役割分担に捉われずに仕事の仕組みを見直すために活躍のフィールドの拡大をしていくものである。

●**その他** 施策実施に向けた必要な準備を進めていく。

●提案箇所体制減の内訳

- 東京統括センター 管理-3
東京営統セ 工事副長1・防災副長1
京葉運輸区 企画副長1
- 中野統括センター 管理-2、一般-4
中野電車区 企画副長1・事務2
中野車掌区 企画副長1・事務2
- 池袋統括センター 管理-3、一般-3
池袋営統セ 企画副長1・防災副長1
分任1・事務2
池袋運輸区 企画副長1
- 上野統括センター 管理-3
上野営統セ 工事副長1・防災副長1
上野運輸区 企画副長1

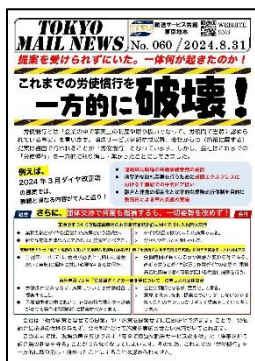
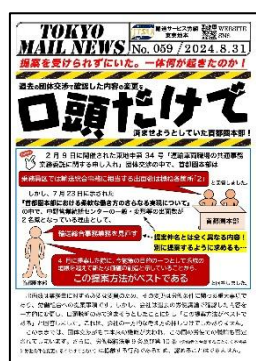
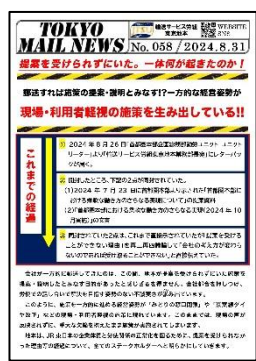
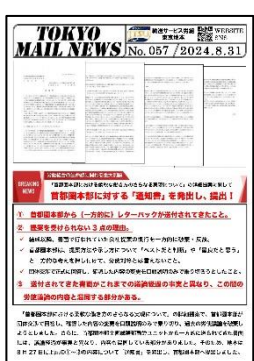


首都圏本部よりこの間の労使議論を受け改めて 新たな書面を追加して提案資料が示される！

2024年10月実施の提案が何故ここまで遅くなったのか？

これまで輸送サービス労組結成以来行われてきた書面での提案を会社は団体交渉で確認した内容の変更を口頭説明だけで済ませようとした。しかも労働条件に関する事で労働者にとって重要な問題です。これまでの労使慣行を一方的に破壊する行為です。

※詳しくは以下の「TOKYO MAIL NEWS57~60号」をご覧ください。➔



東京地本は以下の3点を指摘したことに対し 首都圏本部が受け止め今回の施策提案となった！

- 団体交渉の回答で示された内容を形骸化したこと
- 提案方法や示し方について「ベストだと判断」「最良だと思う」と一方的な考えを押し付けて、労使対等とはいえないこと。
- 団体交渉で正式に回答し、確認した内容の変更を口頭説明のみで乗り切ろうとしたこと。

首都圏本部は補足資料として以下の文書を追加してきた！

2024年7月に「首都圏本部における柔軟な働き方のさらなる実現について(2024年10月実施)」について提案し、その中において輸送総合システム入力に関する業務(輸送総合事務業務)の見直しについても説明したところであるが、以下の通りその提案資料の内容を補足する。

これまでの中野車掌区と中野電車区における目安として概ね各変形2程度の業務量としていた輸送総合システム入力に関する業務(輸送総合事務業務)については、中野統括センター発足に合わせて見直し、同統括センター発足後、当面の間、概ね変形2程度の業務量を予定し、体制の変更を実施する。

組合

◆ 施策に反対している訳ではない。働きやすい職場を目指すため議論を進めていきたい。今日が初の提案である。首都圏本部は7月23日に提案した認識か。
◆ 施策を巡って今日のような事態になった。信義誠実な議論を今後も望む。

◆ 7月23日提案した認識であり、この場も提案の場である。提案する努力を行ってきた。首都圏本部で判断し文字として示し今日提案している。
◆ 認識が合わない所を埋めるためにやってきた。労使でぶつかっては思っていない。真摯に議論を行っていききたい。

会社

労使慣行の一方的破壊を許さず 現場の声を反映させる施策を実現しよう！